

2004年度 光学天文連絡会シンポジウム 「大学の活性化」

世話人: 富田晃彦 (和歌山大学、光天連運営委員)
安藤裕康 (国立天文台)
縣 秀彦 (国立天文台)
川端弘治 (広島大学)
西浦慎悟 (東京学芸大学)

このシンポジウムに至るまでの歴史

岡山観測所の更新、そしてTAO計画の議論から

2000年岡山新天文台計画シンポジウム 於 OAO

2001年岡山新天文台計画シンポジウム 於京都大

2002年光天連将来計画シンポジウム 於国立天文台

「大学の活性化」セッションで議論

**大学の基盤整備、大学天文台の必要性、
裾野拡大の必要性、国立天文台との協力のあり方**

10 - 20年後のサイエンス

2003年春季年会「光赤外の将来計画とサイエンス」

2003年光赤外将来計画シンポジウム 於国立天文台

2004年光赤外将来計画検討会報告会 於国立天文台

2004年末、理論懇などと合同のサイエンス会合予定

1. 大学天文台の進捗状況

- (1) 昨日まで議論していた岡山新天文台計画のレビュー
午前最初のセッション(座長:安藤)
- (2) これまで報告が続いているTAO計画、名古屋大からの報告
午前後半のセッション(座長:西浦)

2. 各大学(小機関を含めて)の取り組みの紹介

- (1) 研究環境整備、大プロジェクトへの参加
- (2) 教育普及、(色々な意味での)社会還元
午後最初のセッション(座長:川端)
午後真ん中のセッション(座長:縣)

3. 総合討論

午後最後のセッション(座長:富田)

光天連シンポジウムに合わせたポスターも2件あります。